

企画セッション

◆ 大学の「知」をどのように社会へとつなげていくか ◆

【日 時】2019年12月8日(日)10:30 ~ 12:00

【概 要】

研究成果の社会還元は、大学の第3の使命と言われています。その大学の優れた研究成果の社会還元としては、革新的技術の研究開発を行う国プロへの発展、大学発ベンチャーの設立、知財ライセンスを通じた企業による事業化、などが考えられます。

国プロ、大学発ベンチャーの設立、企業への知財ライセンスなどを推進していくには、それぞれの出口に最適な知財戦略が必要です。研究者による論文発表なども考慮し、どの発明を権利化/秘匿し、どのタイミングで特許出願/論文発表するかを検討しながら、知財戦略を策定していくことになります。あわせて、将来その研究成果が大きく花開くだろう発明の発掘も行い、基礎研究の段階から、企業の動向や市場予測などのビジネス視点も加味した知財戦略を策定していくことが重要といえます。

特許庁は、優れた研究成果を発掘し、研究者目線で出口を見据えた知財戦略をデザインする知財戦略デザイナーを大学に派遣する事業を、2019年度から開始しました。本セッションでは、産学連携活動に精通した知財戦略デザイナーや知財戦略デザイナー派遣先大学の知財担当者に、大学特有の実例等に基づき、発明の発掘、出口及びそこにつなげる知財戦略の策定にあたっての課題やキーポイントなどについて、語っていただきます。

【パネリスト】 (敬称略: 五十音順)

小池 充 特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー
松下 文夫 特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー
間中 耕治 九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
<モデレータ>
船越 亮 特許庁企画調査課 知的財産活用企画調整官

以 上

企画セッション

◆ 大学の「知」をどのように社会へとつなげていくか ◆

【パネリスト・モデレータ略歴】 (敬称略:五十音順)

小池充 (こいけ・みつる)

1981年 富士写真フイルム株式会社入社 同年6月 吉田南工場研究部配属

2014年 富士フイルム株式会社 知的財産本部 知財技術部長

兼 富士フイルムホールディングス株式会社 知財戦略部 マネージャー

兼 富士フイルム知財情報リサーチ株式会社 取締役(非常勤)

2018年 富士フイルム知財情報リサーチ株式会社 取締役(常勤)

2019年 同社 参与

2019年 特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー

船越亮 (ふなこし・りょう)

2001年特許庁入庁。特許庁審査官・審判官として、情報分野、医療機器分野の審査・審判に従事。また、知財データに関する海外特許庁との交渉、特許出願技術動向調査、企業の知財戦略支援を担当。OECDエコノミスト、大阪大学大学院医学系研究科知財戦略室長(特任准教授)等を歴任。2019年7月より現職。

松下文夫 (まつした・ふみお)

東京大学工学部卒業、同修士課程修了。旭化成株式会社で研究開発(1978~2007:部長、研究所長等)及び知的財産(2007~2012:部長等)を担当。国立大学法人東京農工大学で産学連携(2012~2019:教授)を担当。科学技術振興機構でNexTEP委員(2013~2018)等を担当。2019年特許庁委託事業「知財戦略デザイナー派遣事業」知財戦略デザイナー。弁理士登録(2014)。

間中耕治 (まなか・こうじ)

1991年 特許庁入庁。特許庁審査官・審判官として、自動車関係・工作機等のものづくりに関する発明の審査審判に従事。

2011年 産業技術総合研究所イノベーション推進本部知財部長

2013年 審査第二部生産機械 上席総括審査官

2015年 審査第二部繊維包装機械 審査長

2017年 審判部第15部門 審判長

2017年11月より現職。